

リトアニアの木材加工産業

コペンハーゲン事務所

リトアニアの主要産業のひとつである木材加工産業について、産業概況、代表的なリトアニア企業、団体・機関、インタビューをまとめた。

1. 丸太市場の状況

リトアニア国内における丸太の供給量は、年間約5,000,000m³～6,000,000m³で推移している。その丸太の3分の2以上は、国有林において伐採されたものである。海外からリトアニアへの丸太の輸入は小規模なものであり、2001年は合計約96,000m³にすぎなかった。しかし、これは比較的小規模ながらも前年比60%増の伸びをみせた。これはベラルーシからのパルプ木材の輸入増加によるものである。一方、ロシアからの木材輸入量は同45%減の約24,000m³であった。ちなみに、ウクライナからの輸入量はその半分の約12,000m³である。

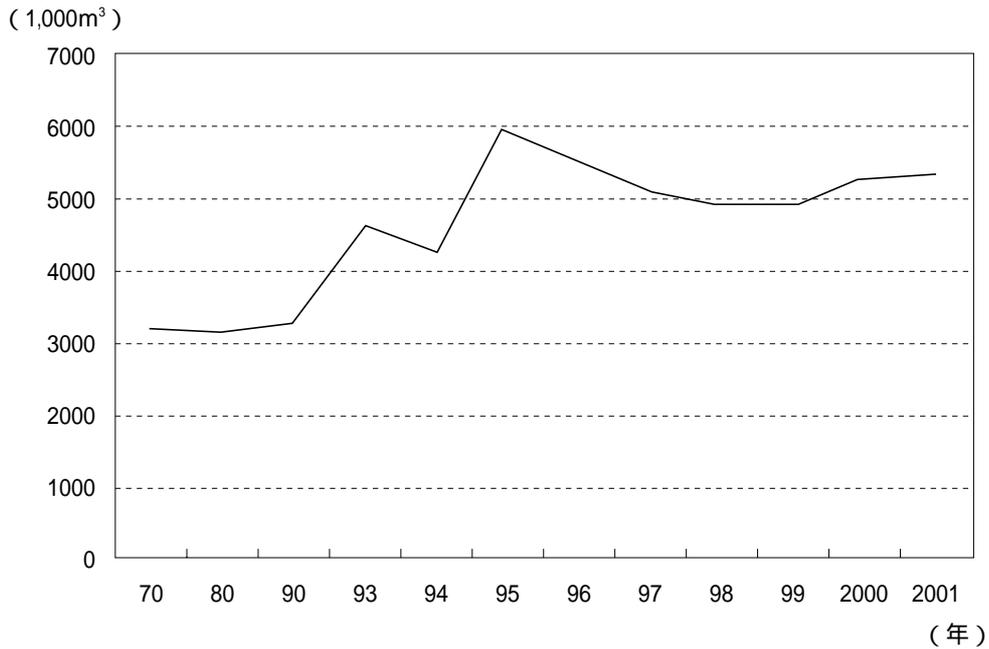
リトアニア国内の消費者が、国内生産の丸太の大部分を購入しており、丸太の輸出量は総生産の約5分の1（約1,300,000m³）にすぎない。輸出先は主に北欧諸国であり、輸出量は約700,000m³に達する。次いでポーランドへの約300,000m³、ロシアへの約200,000m³と

続く。

国有森林企業および国立公園における丸太の現地販売平均価格は2001年、前年比で2%下落した。軟硬材（カバ・ハンノキ・アスペン）は価格変動がみられなかったが、軟材（針葉樹材）の丸太価格は同5%下落した。カバのパルプ木材価格は急激に下落しており、前年比で約20%の価格下落、マツおよびトウヒのパルプ木材価格も約10%下落した。

国有森林企業は採算のとれていない製材所を2001年に閉鎖し、丸太供給量を15%削減した。しかし、国内における丸太の販売量も輸出量も、依然としてほぼ近年の水準が維持されている。輸出における主力商品はパルプ材であり、これは国有林から輸出される木材の約75%に達する。

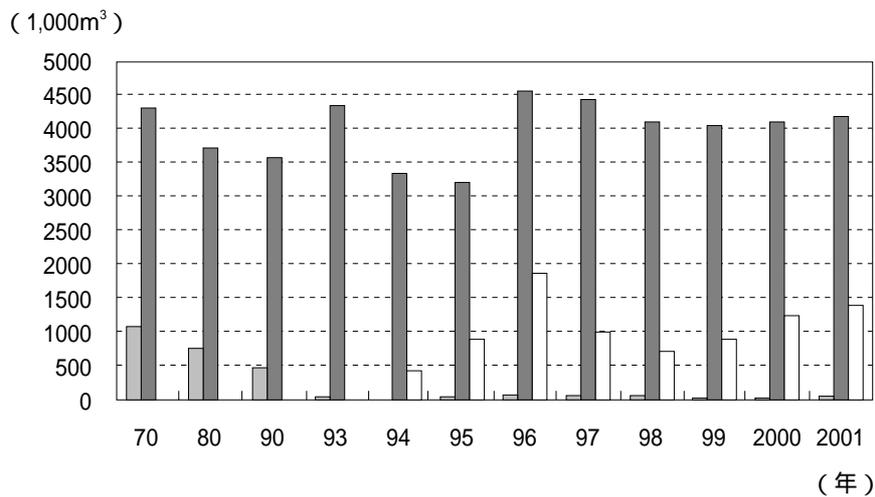
丸太伐採量の推移



丸太伐採量

出所：リトアニア森林経済局・統計局

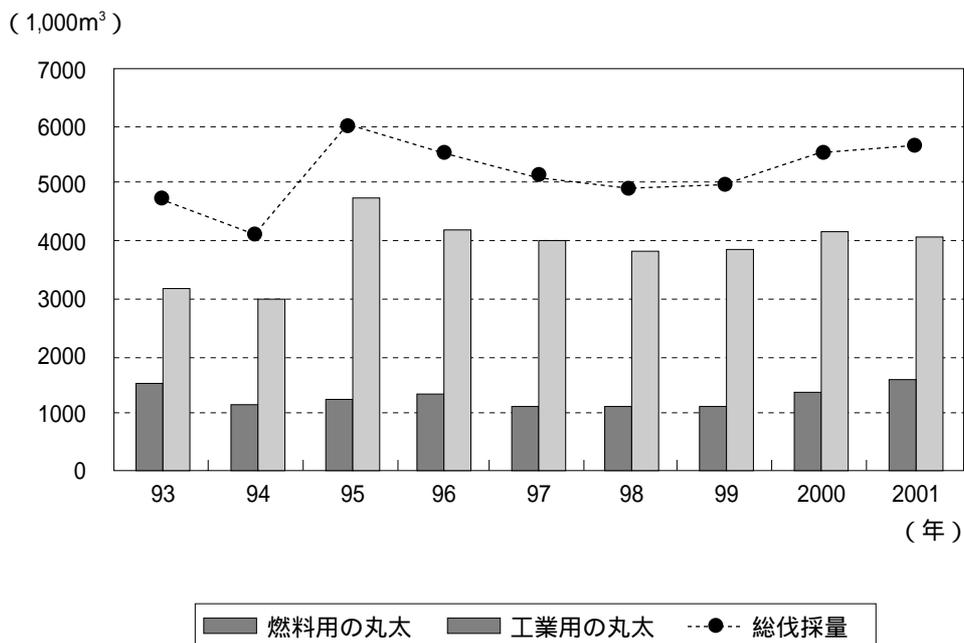
リトアニアの丸太の輸出入の推移



輸入量 国内消費量 輸出量

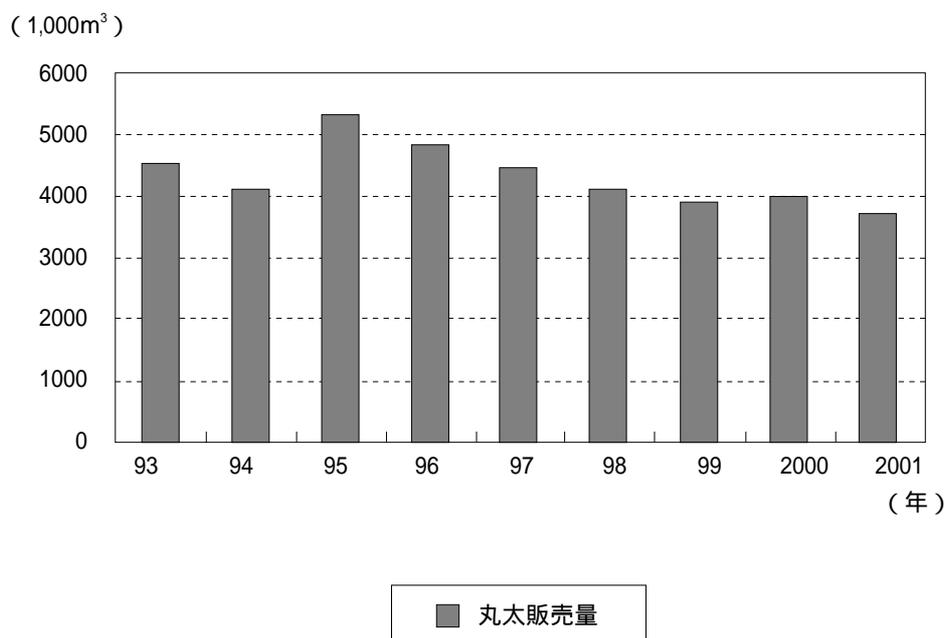
出所：リトアニア森林経済局

リトアニア木材伐採量の用途別でみる内訳



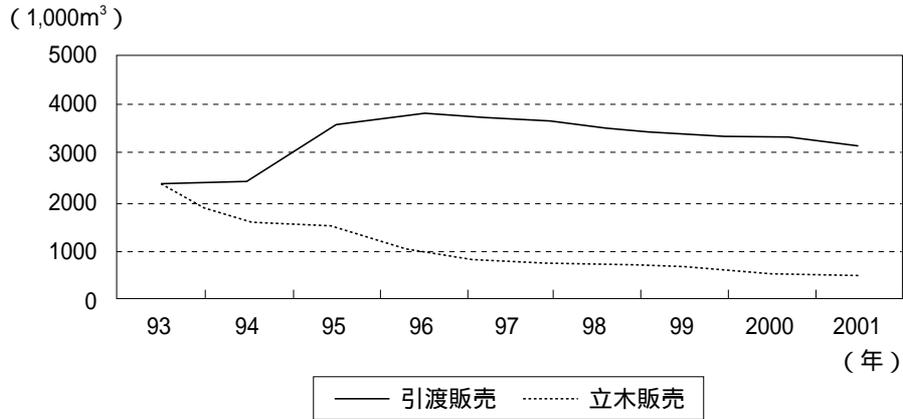
出所：リトアニア森林経済局

国有林における丸太販売量の推移



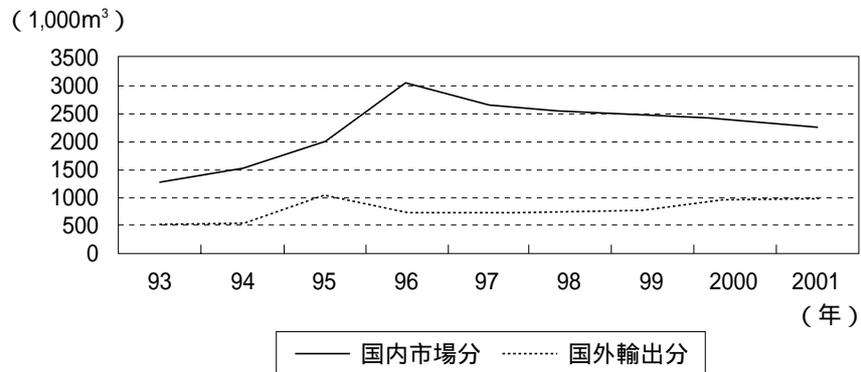
出所：リトアニア森林経済局

国有林における丸太の販売形態の推移



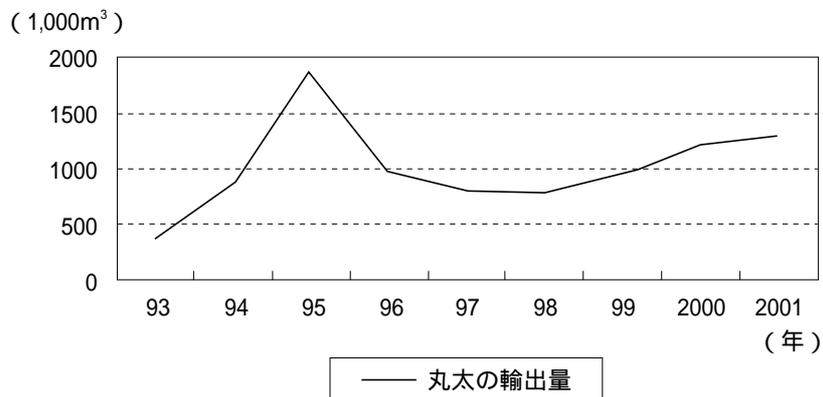
出所：リトアニア森林経済局

国有林における引渡販売の状況



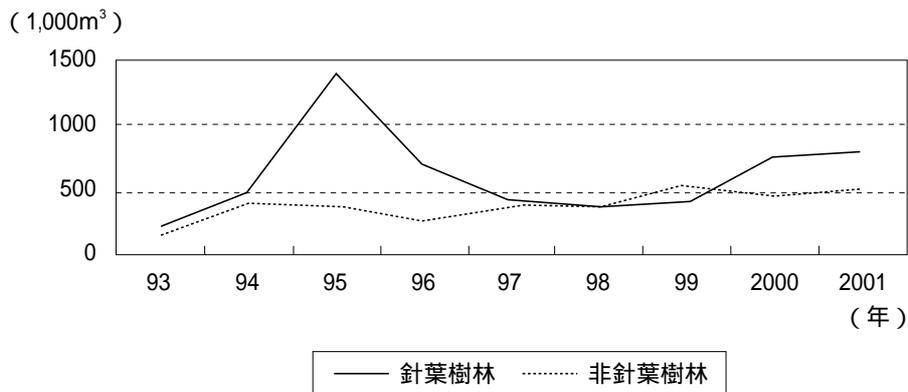
出所：リトアニア森林経済局

丸太の輸出量の推移



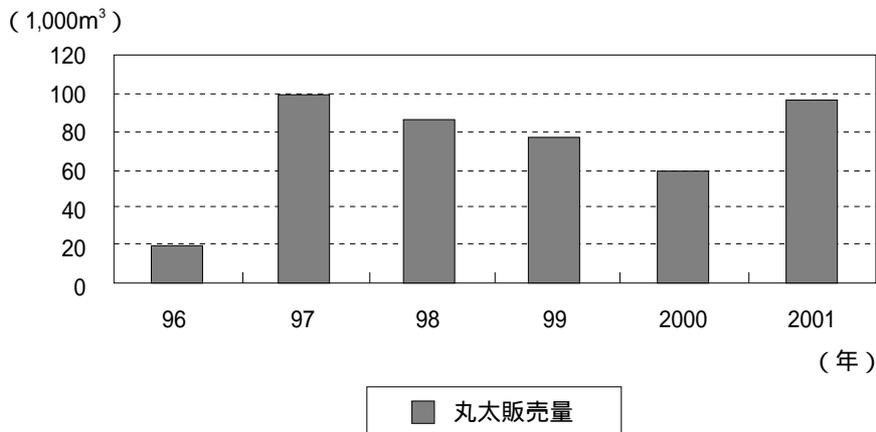
出所：リトアニア森林経済局

丸太の総輸出量における針葉樹林と非針葉樹林の内訳



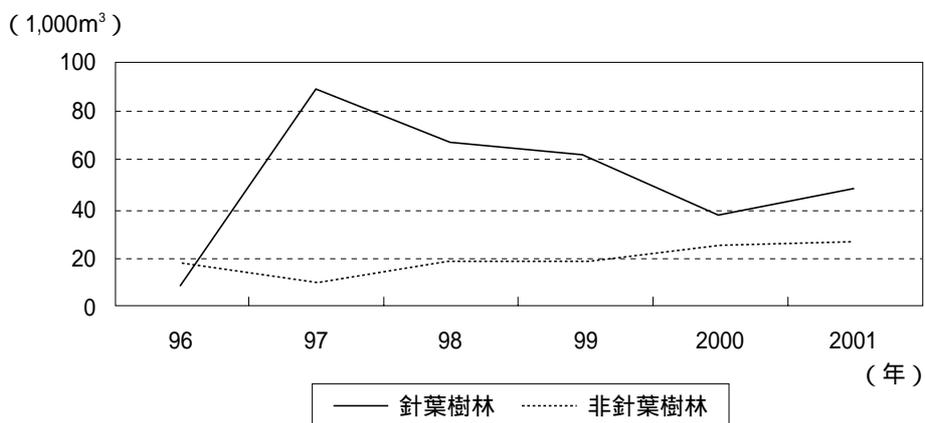
出所：リトアニア森林経済局

丸太の輸入量の推移



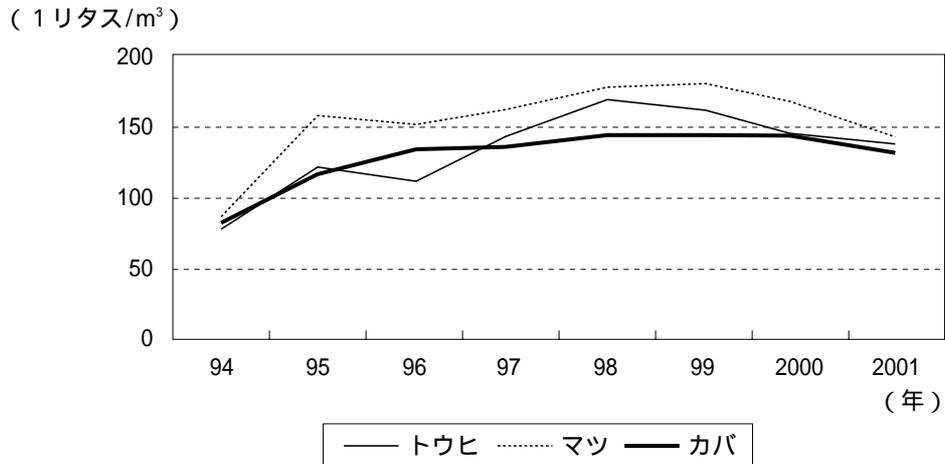
出所：リトアニア森林経済局

丸太の総輸出量における針葉樹林と非針葉樹林の内訳

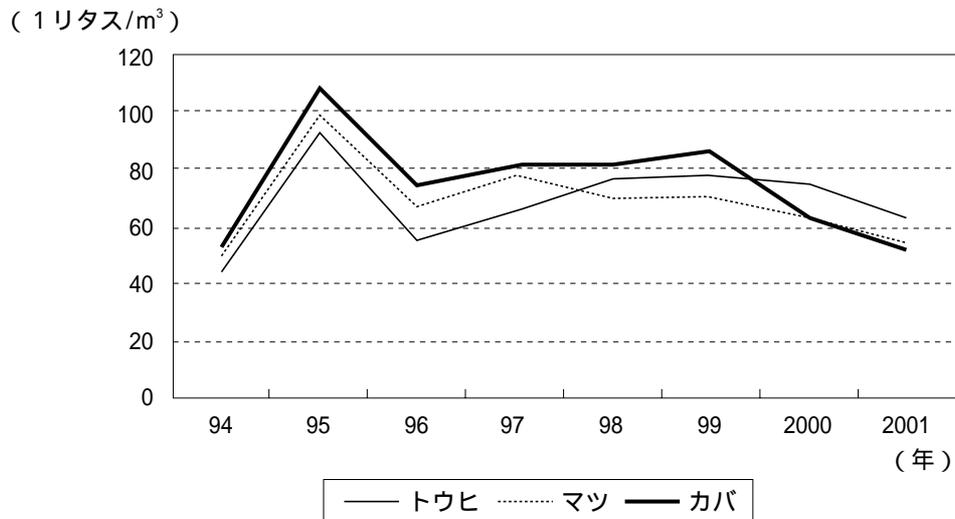


出所：リトアニア森林経済局

丸太の現地販売価格の推移



パルプ木材の現地販売価格の推移



国有林における立木販売量の推移

(単位：1,000m³)

	97年	98年	99年	2000年	2001年
1月～3月	249	277	245	317	214
4月～6月	128	90	69	94	59
7月～9月	73	62	69	58	51
10月～12月	189	225	186	131	146
合計	639	654	569	600	470

出所：リトアニア森林経済局

国有林における引渡販売量の推移

(単位：1,000m³)

	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年
1月～3月	1,013	937	861	878	887	939
4月～6月	961	864	808	773	825	735
7月～9月	1,025	807	783	773	807	760
10月～12月	872	760	810	825	795	792
合計	3,871	3,376	3,262	3,249	3,314	3,226

工業用丸太の主要輸入先の国々とその内訳(2001年)

	軟質の木材		硬質の木材		合計	
	1000m ³	1000リタス	1000m ³	1000リタス	1000m ³	1000リタス
ベラルーシ	55.6	3,385	0.6	37	56.2	3,422
ロシア	12.7	4,044	11.0	5,101	23.7	9,145
ウクライナ	-	-	14.6	5,694	14.6	5,694
エストニア	0.0	1	1.5	334	1.5	335
ポーランド	0.1	16	0.1	29	0.2	45
ドイツ	-	-	0.2	329	0.2	329
その他	0.0	21	0.0	74	0.0	95
合計	68.4	7,467	28.0	11,598	96.4	19,065

出所：リトアニア統計局

工業用丸太の主要輸入先の国々と量の推移

(1,000m³)

	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年
ロシア	18	49	45	66	44	24
ウクライナ	-	2	5	8	12	15
ベラルーシ	1	45	34	1	3	56
エストニア	-	3	2	-	-	1
その他	-	1	-	-	1	0
合計	19	100	86	75	60	96

出所：リトアニア統計局

丸太の貿易（2001年）

【輸入】

	総 量	総価格	前年比	
			総 量	総価格
	1,000m ³	1,000リタス	%	%
工業用丸太	96.4	19,065	60	- 2
針葉樹	68.4	7467	98	- 12
非針葉樹	28.0	11,598	9	6
燃料用丸太	0.1	40	- 80	111
合 計	96.5	19,105	59	- 2

【輸出】

	総 量	総価格	前年比	
			総 量	総価格
	1,000m ³	1,000リタス	%	%
工業用丸太	1,315.9	167,142	10	4
針葉樹	781.8	104,531	15	8
非針葉樹	534.1	62,611	2	- 2
燃料用丸太	7.8	1454	144	110
合 計	1,323.7	168,596	10	4

出所：リトアニア統計局

工業用木材の主要輸出先と量の推移

（単位：1,000m³）

主要輸出先	94年	95年	96年	97年	98年	99年	2000	2001
スウェーデン	460	584	257	373	384	506	620	565
ポーランド	4	18	73	26	93	205	285	310
ロシア	210	784	442	273	213	148	222	186
ラトビア	24	38	28	36	88	47	44	79
フィンランド	6	34	8	16	-	16	13	138
ドイツ	-	-	1	-	4	15	3	24
ウクライナ	72	112	72	12	-	-	0	0
ノルウェー	78	93	5	-	3	-	0	0
その他	33	106	66	28	7	1	13	14
合 計	887	1,769	952	764	792	938	1,200	1,316

出所：リトアニア統計局

2. 木材加工産業の概要

(1) 企業数・売上高・従業員数

現在リトアニア国内では、様々な規模の企業が製材、パネル製造、段ボールを含む製紙、家具・建具製造などの木材加工業に従事している。木材加工業のみに従事している企業は900社あり、うち60社が中堅企業以上（従業員50人以上）である。同産業には、約52,000人が従事している。（林業を除く）同産業は、家具製造業を中心に製造、輸出量の両面において成長を続けており、リトアニアの総工業

生産の約10%を占めている。

木材加工産業全体で現在約30社の大企業（従業員100人以上）があり（従業員総数約11,000人）、2002年の売上高は3億4,300万ユーロとなった。これらの大企業は、木材加工業の全体の42%を製造している。（うち、家具および家具部品製造17社、製材4社、製紙7社）リトアニア統計局によると、現在190社が家具製造であり、2002年の家具総生産量の約半分が10社の大企業によって製造された。また、この10社は大手輸出業者としても知られている。

木材加工産業の現状（2002年）

製 品	企業数（社）	従業員数（人）	売上高（100万ユーロ）
製 材	343	7,935	118.6
合板・パネル	27	3,771	75.0
建 具	163	4,112	47.4
梱包用材	54	1,991	33.6
製 紙	36	2,453	80.9
家 具	190	12,014	176.7
その他	60	1,470	12.6
合 計	873	33,746	544.8

出所：ASOCIATION LIETUVOS MEDIENA

主要な生産製品

	2000年	2001年	2002年
製材（1000m ³ ）	1,300	1,250	1,300
合板（1000m ³ ）	40.6	49.2	51.1
パーティクルボード（1000m ³ ）	170.3	197.4	189.4
ファイバーボード（100万m ² ）	15.3	16.0	16.0
紙（1000トン）	12.3	13.9	10.4
段ボール（1000トン）	41.0	54.3	67.3
家具（100万ユーロ）	166	198.7	260.1
窓および窓枠（1000m ² ）	114.6	102.0	103.4
ドアおよびドア枠（1000m ² ）	82.2	35.9	30.9

出所：Association Lietuvos mediena

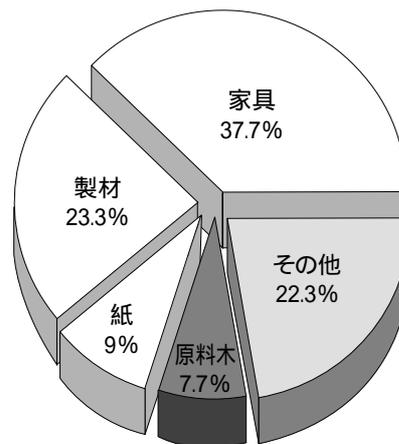
このように、現在家具製造産業においては、生産の集中化が進展している。製材産業においても、同様に約300社あるが、10社の大企業（100人以上の従業員）によって約半分の生産がなされている。

(2) 貿易の状況

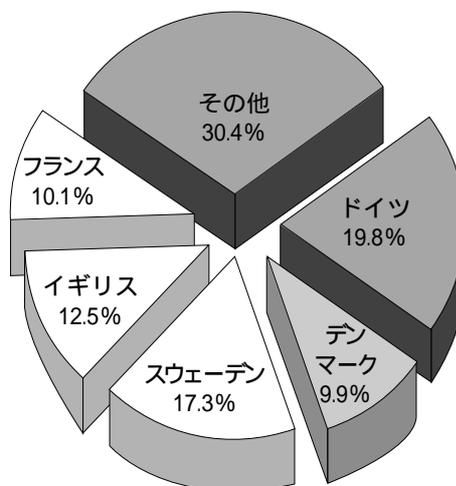
リトアニアは2002年、原料木材、製材、合板、パネルおよび家具などの木製品を輸出している。2002年において、家具および家具部品の輸出量は、木材加工製品輸出量全体のうち約1/3（37.7%）、製材は23.3%を占めた。現在リトアニアは、製材（27万m³）、ウッドパネル、家具および紙を輸入している。

国別に見ると、2002年において最大の輸出相手国はドイツ（22%）である。その他、スウェーデン、英国、デンマーク、米国、ポーランド、フランスが挙げられる。輸入では、ポーランド（18%）が最大で、次いで、ロシア（16%）、ドイツ（12%）となっている。

木材加工品輸出状況（2002年）



家具の輸出相手国（2002年）



木材加工品輸出入状況
(単位100万ユーロ)

	輸出	輸入	バランス
木材および加工木材（家具および同部品を除く）			
99年	224.1	75.0	+149.1
2000年	261.2	81.4	+179.6
2001年	294.6	93.3	+201.3
2002年	339.1	114.7	+224.4
	輸出	輸入	バランス
紙および紙製品			
99年	37.8	153.6	- 115.8
2000年	45.9	150.1	- 104.2
2001年	52.8	167.7	- 113.8
2002年	57.1	174.1	- 117.0
	輸出	輸入	バランス
家具（部品を含む）			
99年	110.6	35.4	+75.2
2000年	124.9	31.4	+93.5
2001年	185.0	43.6	+141.4
2002年	240.0	46.0	+194.1

出所：Asociation Lietuvos mediena

(3) 原材料調達状況

リトアニアの木材加工業界が主に使用している原材料木は国産である。伐採量は年々拡大し続けており、2002年には約600万m³となった。

白ロシア、ロシア、ウクライナからの原材料木の輸入量は2001年と比べて増加せず、消費量全体のうち2%程度にとどまった。輸出については、リトアニアは製紙原材料（パルプウッド）の輸出を大量に行っている（2002年140万m³）。また、2002年におけるパイン材の対ポーランド輸出量は前年比で約2倍に拡

大手輸出業者

企 業	製 品	輸出額 (単位：100万ユーロ)			売上高に占める 輸出額のシェア (%)
		2000年	2001年	2002年	
1. Pajūrio mediena	製 材	12.2	15.9	24.8	88
2. Vilniaus baldų k-tas	家 具	16.8	16.7	22.7	96
3. Klaipėdos mediena Group	製材・木材加工・家具製造など	20.5	22.6	20.1	71
4. Ochoco Lumber	製 材	21.1	21.2	19.5	98
5. Klaipėdos baldai	家 具	13.2	14.2	19.0	87
6. Šilutės baldai	家 具	9.9	13.8	16.1	94
7. Dominga Hardwood	床材製造	2.7	9.1	15.4	100
8. Venta	椅子・テーブル	5.5	7.5	12.5	97
9. Klaipėdos kartonas	梱包用紙・段ボール	6.9	8.6	11.1	58
11. Dominga Mill	製 材	3.7	4.9	9.8	66
12. Freda	家 具	1.5	2.0	7.8	95
13. Kauno baldai	家 具	3.7	4.6	7.7	73
10. Grigiškės	製 紙	7.1	7.6	6.5	38
14. Narbutas ir Ko	オフィス・キッチン用家具	4.1	5.6	5.9	57
15. Karigė	リビング用家具	2.4	3.6	5.3	92
16. Girių bizonas	パーティクルボード	7.2	7.4	5.0	48
18. Baldai Jums	リビング・寝室用家具	4.2	3.4	4.8	93
17. Dailinta	家具用パーティ集製材	2.4	3.6	4.7	97
19. Juodeliai	ユーロパレット	1.8	4.1	4.5	96
20. Sakuona	ベッド用集製材	3.5	3.5	4.2	87

出所：Asociation Lietuvos mediena

大し、パーティ材の対ラトビアの輸出量も拡大した。

原材料木の価格に大きな変動は見られず、エストニアやラトビアと比較して安い価格での供給が続いている。

森林の民営化（共産体制化以前の所有者への返還）は現在も進められており、私有林および私有林からの伐採量の約200万m³は、全体のおよそ1/3を占めている。

伐採見込み量

(単位：100万m³)

	2001 - 2010年	2011 - 2020年	2021 - 2030年
国有林	3.82	3.93	4.19
私有林	2.71	3.58	4.15
計	6.53	7.51	8.34

出所：環境省

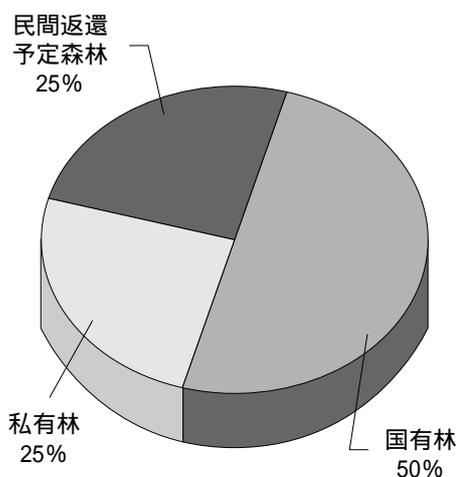
原材料木調達状況

(単位：100万m³)

	国内供給量	輸 入	輸 出	国内消費量
90年	3.53	0.46	0.07	3.92
95年	5.98	0.01	1.80	4.19
96年	5.54	0.02	0.95	4.61
97年	5.15	0.10	0.76	4.49
98年	4.88	0.09	0.79	4.18
99年	4.92	0.08	0.94	4.06
2000年	5.34	0.06	1.20	4.20
2001年	5.47	0.10	1.32	4.25
2002年	6.00	0.10	1.40	4.70

出所：Misku ekonomikos centras

植生状況



出所：環境省

3. 主要木材加工企業

木材加工産業の主な製品は、製材、合板、家具・同部品、建具、紙などが挙げられる。家具・同部品、合板関係製品（製材、木材パネル、合板など）の生産量は拡大を続けているが、建具の生産は現在、需要の減少により落ち込んでいる。

(1) 製材企業

2002年の製材業は、生産量で増加した。リトアニア全体で343社の製材業者あり、その販売額は2002年、1億1,860万ユーロであった。現在7,935人が製材業に従事し、製造量は拡大を続けている。

生産状況

(シェア、単位：%)

製 品	99年	2000年	2001年
1. 製材	20.5	20.2	21.4
2. 合板	10.1	17.4	15.4
3. 建具	10.9	7.4	8.5
4. 梱包用材	1.1	4.3	6.0
6. 紙関係	20.2	15.0	14.6
7. 家具	34.3	33.2	31.8
8. その他	2.9	2.5	2.3

製材企業の生産状況（2002年）

（単位：1000m³）

企業	99年	2000年	2001年	2002年
1. Pajūrio mediena	32.7	62.7	71.2	135.1
2. Ochoco Lumber	67.4	91.1	75.3	67.8
3. Juodeliai	10.3	20.5	40.0	52.4
4. Dominga Mill	6.0	8.5	17.9	31.4
5. Vilniaus mediena	8.4	14.4	14.9	22.2
6. G.Kaminskas ' company	21.0	24.4	20.1	17.4
7. Nemora Group	14.7	17.6	12.4	17.1
合計	160.5	238.2	251.8	337.3

出所：Asociation Lietuvos mediena

（2）梱包用材製造企業

ペーパーボード（段ボール・ボール紙・厚紙など）の生産も現在、拡大している。梱包に使用される段ボールなどの生産が、近年需要の高まりに伴い、生産拡大している。

生産されるペーパーボードは、家具の梱包用や多目的用途で使用される段ボール箱に大きく分類される。1898年に製紙工場として設立されたKlaipėdos kartonas社（本社：クライペダ市）は500人の従業員を有するリトアニア最大のペーパーボード（段ボール）製造企業であり、国内の段ボール箱製造業者に原料となる段ボールロールを提供している。同社の製造する段ボール（ロール）の58%はCIS諸国やEU諸国に輸出されている。同社は2001年に工業用水の浄水設備を一新したことで、使用水量をこれまでの1/3に抑えるとともに品質を向上させた。

カウナス市に本社を置くStora Enso Packaging社は2001年、輸出増加により前年の1,900万リタスから3,100万リタスへ売上高を増加させた。同社は2002年、エストニア・ラトビアの魚介類加工業者向け梱包用段ボール箱を600万リタス販売し、1,500万リタスをTV梱包用にカーニングラードで販売した。

同社は2003年、家具梱包用段ボールの製造機器の導入を計画している。

（3）合板製造企業

現在この業界において注目を集めているのは、UAB Vakarų medienos grupė（VMG）グループである。製材からチップボード製造、合板家具にわたる製造を行っている6社の企業（Klaipėdos mediena（合板製造）、Girių bizonas（製材、チップボード製造）、Sakuona（ベッド用合板製造）、Interflex（木材乾燥）、Vakarų medienos prekyba ir servisas（製材・販売）、Kronolitas（パーティクルボード製造））の共同体である同社は、2005年までに売上高を現在の2倍である4億リタスに拡大する計画を立てている。また、この目的のために投資家を募っている。

2002～2003年にVMGグループは、1億4,000万リタスを生産設備などに投資する予定である。この計画に従い2001年クライペダ市に家具工場Klaipėdos medienosが設立され、スウェーデンのイケア社と5年間の販売契約を締結した。（5年後に契約延長の予定）またInterflex社は、設備改善目的のために5,000万リタスの投資を見込んでいる。（うち

合板製造企業

企 業	売上高 (2001年、単位：リタス)	製 品
Klaipėdos mediena	100.9	ベニヤ、グールドボード
Grigiškės	60.3	繊維板 (硬質)
SCA Packaging	59.5	繊維板 (軟質)
Girių bizonas	40.6	チップボード

出所：Verslo Žinios紙

3,000万リタスは欧州復興開発銀行 (EBRD) からの融資)

Klaipėdos mediena社は、将来的な合板製造の拡大を見込み800万リタスをチップボード製造ラインの最新化を図る計画のために投資した。設備の最新化後には、同社の製造能力は30%増大しチップボード製造量を現在の85,000m³から110,000m³ (年間) までに増大させると同社はコメントしている。

(4) 家具製造企業

リトアニアの家具製造企業は1579年以來の長い伝統を持ち、現在も活発に生産を行っている。木材加工産業のうち最も多くの者 (35.6%) が、家具製造業に従事しており、

木材加工産業全体のうち売上高の32%は家具産業によるものである。国産および輸入木材を使用し製造されたリトアニアの家具は優秀なデザインとEUの求めるクオリティースタンドに合致するものとして、イケア社、マークス&スペンサー社、ローラ・アシュレイ社のような海外大手企業にも認められ、これらの企業に納入されている。家具製造産業は現在、ヴィリニウス市、カウナス市、クライペダ市に集中している。国内に190社の家具・同部品製造企業があるが、売上高の約半分は10社の大企業によって占められている。

以下に挙げるのはリトアニアの家具製造業のうち、代表的な企業である。

リトアニアの家具製造業者

	家具製造業者			従業員数 (人)		
	売上高 (100万ドル)			従業員数 (人)		
	99年	2000年	2001年	99年	2000年	2001年
Klaipėdos baldai	11.6	15.6	15.9	420	465	492
Vilniaus baldų kombinatas	7.8	15.6	15.3	707	796	917
Šilutės baldai	7.4	8.8	12.7	629	796	865
Narbutas ir Ko	6.7	7.7	8.7	212	220	266
Kauno baldai	4.5	6.0	6.9	440	377	450
Venta	3.5	4.9	6.6	354	503	714
Siguldos baldai	3.3	3.4	4.1	117	131	150
Karigė	1.7	2.6	3.5	211	210	304
Vokė III	5.5	3.6	3.1	222	173	165
Baldai Jums	2.4	3.8	3.0	187	232	248
合 計	54.4	72.0	79.8	3,499	3,903	4,571

出所：Lietuvos Mediena

.....

Vilniaus baldų kombinatas社(www.vbk.lt)
リトアニア最大の家具会社で、洋服ダンス、ベッド、テーブル、本棚、オフィス家具など、各種合板家具を製造。従業員数830人、売上高2370万ユーロ(2002年)で、ヴィルニウス市所在。

工場のラインは端から端まで500mあり、梱包部門を除いて機械化が進んでいる。1分間にクローゼットを4個製造する能力がある。2000～2001年に600万ユーロを投資。アテネ五輪のオリンピック選手村の家具も受注しており、2003年は売上の20～30%増を見込む。

製品の93%をスウェーデン、ドイツ、英国、カナダ、フランス、オランダなど30カ国以上へ輸出。特にスウェーデンのイケア社の主要下請企業となっているが、リスク分散の観点から5社程度の販売先多角化を模索中。デザイン部門を有し60種類の家具を製造しており、イケア社へは4種類のみ販売している。

バルト三国で唯一、板の内部を空洞にして、厚紙を補強材として充てんする技術を導入しており、通常の家具より軽量の家具も製造している。この家具は、早く製造できるメリットもある。

材料は、チップボード、合板についてはリトアニア産を使用しているが、表面に貼る木材、金具、接着剤等については西欧から輸入。塗装は6回行い、光や引っかきに強く仕上げている。

ワーカーの賃金は月額1,100リタス、マネージャークラスの賃金は月額2,200リタス。週労働時間は40時間で、3交替制。

ジェットロの2002年度EJSPプログラムに同社社長が参加し訪日。この結果、日本企業と販売面での関係を既にもち、現在6社の企業にオファーを出している。大量生産品なので、ホームセンター、ホテル、ビジネスセンターなどへの売り込みを図っている。イケア社との協定では、イケアの名前を使用して家具を売らないことだけが条件になっており、

独自に販売しても協定上問題はないとのこと(現在も、ベルギー、フランス、スウェーデンに自ら販売している)。

Klaipėdos Baldai(www.klaipedos-baldai.lt)
1954年設立で、ベニアおよび合板、メラミン材などを使用したベッド、オフィス家具、洋服ダンス、テーブル、本棚などの各種家具を製造。従業員数543人、売上高2,175万ユーロ(2002年)。リトアニアの財閥(SBA Concern)のグループ企業で、パルプ、合板、家具などの製造企業が集中するクライペダ市所在。

製品の73%をベルギー、フランス、ドイツ、オランダなどの西欧市場へ輸出、27%を国内市場へ販売。97年にリトアニアの家具企業では最初にISO9001を取得。曲面カットから断面処理(ラミネート貼付け)までをコンピュータ操作により1台で行うNCルーターを所有。

Narbutas Ir Ko社(www.narbutas.com)

リトアニア最大手のオフィス家具の製造企業で、Mr. Narbutas氏の100%所有企業。従業員数276人、売上高1,200万ユーロ(2002年)で、2004年には新工場を建設する計画がある。ヴィルニウス市所在。

製品の64%がオフィス家具、12%が台所用家具、10%が椅子で、アイデア、デザイン、企画から製造まで全てを自社で行い、コピー商品ではなく、オリジナル性を有する家具を追求。97年よりデンマークおよびイタリアのデザイナーと契約。製品の51%を輸出しており、そのうち60%がラトビア、ロシア、ウクライナなどに向けて輸出、40%が西側市場向け(英国、デンマークなど)。ロシアでは有名企業として知られているため、ロシア危機前はロシアだけで60%の割合を占めていた。また、リトアニアからロシアは近く、ロシアビジネスについては過去の経験の蓄積がある

ことも一因。日本へも、台所用テーブルおよび椅子を輸出している。2002年に英国に販売子会社を設立。ドイツでも子会社の設立を検討している。既に英国のディーラーにも良く知られたブランドになっており、さらにブランドを確立して少しずつ自社で市場を開拓していく予定。

曲面カットから断面処理（ラミネート貼付け）までをコンピュータ操作により1台で行うNCルーターを所有。ISOは取得していないが、そのことが商売上問題になったことはなく、顧客を満足させることこそがスタンダードと考えている。ただし、国内およびドイツのスタンダードを取得するつもりはある。

ワーカーの賃金は月額400ユーロ、マネージャークラスの賃金は月額800~1,000ユーロ。

Silutes Baldai (www.silutesbaldai.lt)

1890年に製材所として設立され、1958年に家具製造を開始。1970年に初めてシステムキッチン家具を製造。現在、大手の台所用家具、テーブル、棚の製造企業で、従業員数840人、売上高1,680万ユーロ（2002年）。SBAグループに所属し、クライペダ市の南のシルテ市に所在。

ベニアおよび合板、かば、松などの各種素材により、300種類以上の家具を製造しており、台所用家具のリーディング企業を目指している。ベルギー（SODIM社）、ドイツ（VIERHUS社）、スウェーデン（イケア社）へ輸出。

Voke - III (www.voke3.com)

91年設立の台所用家具専門の製造/販売企業で、従業員数160人、売上高380万ユーロ（2002年）。ヴィルニウス市所在。

無垢材、着色繊維材、ラミネート合板などを素材にした各種台所用家具を製造しており、国内11ヵ所およびリガ市（ラトビア）に

販売店を有する。製品の半分以上を北欧、ラトビアなどへ輸出。

Kauno Baldai (www.kaunobaldai.lt)

1922年設立で、布地等装飾材料使用家具専門の製造企業として活動。従業員数560人、売上高1,060万ユーロ（2002年）。SBAグループ企業で、カウナス市所在。

居間セット、ソファー、マットレスなどを製造しているほか、ホテル、レストラン、オフィス向けにオーダーメイド家具を製造。製品の50%をベルギー、北欧、ドイツ、英国、フランス、ロシアなどへ輸出。装飾材料の布地、皮革（天然、人工）は、イタリア、スペイン、ベルギー、ドイツ等から輸入。また、縫製は、ドイツ製、日本製の機械により行う。2000年にISO9001を取得。

Siguldos Baldai (siguldossalonas@takas.lt)

91年にDalia Markevicieneデザイナーの個人企業として設立され、当初は輸入家具および国産家具のリトアニアやラトビアでの販売を行っていた。その後、94年にSiguldos Baldai社となり、現在は家具販売のほか、寝室用家具、台所用家具、オフィス用家具、TV・雑誌用テーブルの製造を行う。従業員数は118人、売上高は335万ドル（2002年）。同社の販売店はヴィルニウス2ヵ所、カウナス、クライペダ、リガ（ラトビア）にあり、製造工場（5000m²）はヴィリニウス市郊外のアビジエニャイに置かれている。

97~98年にかけて、ドイツよりHOMAG、BRANDT、HOLZMA社製の工作機器、イタリアよりBIESE社製工作機器を輸入し設備近代化を行った。99年より、対紫外線効果、防水効果を持ち、食品との直接接触による影響を考慮した製品の生産をしている。同社の製品は現在、ラトビア、ドイツ、オランダに輸出されている。

.....

Karige (www.karige.lt)

1874年に設立され、1929年には既に150人の従業員を有し、リビング用家具の製造を行っていた。第2次大戦中にほとんど被害を受けなかった同社は、設備近代化をコンスタントに続け、現在は合板・ベニア製のリビング用家具のほか、オフィス用家具、たんすなどを製造。従業員数は290人、売上高は580万ユーロ（2002年）。カウナス市所在。製品の大部分をベルギー、ドイツ、スウェーデン、スペインなどの西欧諸国に輸出している。

Venta社 (www.venta.lt)

1931年に設立され、当時は曲げ木細工による子供用の椅子を製造していた。75～89年に製造設備近代化および新工場の増設が行われ、現在は年間に、無垢材の椅子50万脚とテーブル3万台を製造する同種家具のリーダー企業で、99%を輸出している。輸出先は、欧州（スカンジナビア、ドイツ、英国）、米国、日本など。リブラグループ傘下の企業で、リブラ持株会社が80%の株式を保有。本社シャウレイ市。

売上高は5,500万リタス（2002年）で、2002年は前年比60%増となった。従業員数は850人（うち780人が製造）。ワーカーの賃金は月額1,200リタス。木材は、オーク、樺、松で、すべて国内から調達。2002年に1,800万リタスの投資を行い、ドイツ向けの輸出のために、デンマークの工場を購入して設備を同社へ移した。この際、顧客も実質的に引き継いでおり、デンマーク企業が販売している。また、2004年には金属製家具の製造のために、スウェーデンから同社に設備を移して製造を行う予定（合併企業）。スウェーデンのSAS、ガソリンスタンドなどが顧客となる見込み。

イケア社向けの生産は全体の35%で、Design AG、Kontinent Mobel AB社とも提携している。日本へは、椅子とテーブル（コンテナ3本）を出しており、2004年にまた日

本市場向けの新しいモデルを出す予定。ミニマムロットはコンテナ1本分で、椅子350～500脚相当。日本向けはクライペダ港からの船積みとなる。ノックダウン、セミノックダウンもある。デザイナーはいるが、ほとんどの場合は顧客側がデザインを行ったものを製造している。接着剤、塗料、ネジ、紙やすりなどはすべて西欧から調達しており、リトアニアで調達しているのは労働力と木材のみ。2002年にISO9001、2003年にISO14001を取得。

同社は中流～中上流の階層をターゲットとしており、中国製品との価格競争はほとんど問題とはなっていない。オーク、樺、松の各材種について、ほとんどの商品は作れるが、湾曲したものは松では作れない。一般的に、樺と松の商品の価格は同じで（椅子なら1脚20～40ユーロ）、オークと松では25%の価格差がある。いずれにしても、価格は注文のロットにより異なってくる。毎年西欧の展示会に3～4回出展している。以前は非常に活動的に売り込みをかけていたが、最近は相手側から同社へコンタクトしてくることが多くなった。

Baldenis社 (www.baldenis.lt)

91年に無垢材の椅子とテーブル製造の専門企業として設立され、現在この部門ではバルト三国でVenta社に次ぐ第2位の企業。従業員数190人で、うち150～160人が製造に従事。椅子は2万5千個/月、テーブルは2,000台/月を出荷。本店はヴィルニウスで、工場はパネヴェジースとアニクシアイにある。

売上高は、2002年が1,000万リタスで、2003年は1,600万リタスを見込む。工場は現在フル稼働状態で、10月まで新規注文がとれない状況。カウナス市の近郊に3番目の工場を建設する計画で、2004年春には稼働する予定。

原料は100%リトアニア産の松。2002年からは市場の重要性に鑑み、オーク材商品も実験的に製造を始めた。接着剤、塗料などは西

欧から輸入。92年にISO9001を取得。丸太から家具製品までの一貫作業であり、これにより値段を低く抑えることが可能。デンマークの商社（NGA MOBILER社とFURN CONSULT社）が最大の取引先で、同商社からさらに英国へ向けて輸出されている。他にPIRTAKA社（フィンランド）、LALUMA社（スウェーデン）にも出している。対日輸出については、これまで経験もコンタクトもない。発送は、コンテナではなく大型トレーラーで行っており、英国にもクライペダ港からフェリーでトレーラーごとデンマーク経由で輸送している。このため、ミニマムロットは椅子で1,500脚、テーブルで400台と大きい（いずれも分解して一杯に積み込んだ場合）。技術部があり、独自デザインの家具を製造し、家具展示会にも出品しているが、現在のところ自社ブランド品の販売はリトアニア国内のみ。ほとんどの場合は、顧客側がデザインをもってきて、これに従って当社が試作品を作り、これに顧客から直しが入るといふ流れになっている。デンマークの商社は、同社が納入した家具の他に他の家具も加えて大きなセットにして別のブランド名により販売。

ワーカーの賃金は、月額800リタス、マネージャークラスの賃金は月額1,500リタス。2交替制で、7:00~15:00、16:00~24:00の2シフト。株主は、3人（1人は同社会長、2人が部長）が100%を保有。

Baldai Jums社（www.tiltas.lt）

94年に倒産した家具工場の施設を買い取って設立。樺、松等の無垢材を使用したアンティーク調家具、ベッド、洋服ダンス、子供用家具の製造企業で、従業員数300~350人、売上高1,800万ユーロ（2002年）。2003年は2,000万ユーロを目指す。カウナス市近郊のヨナーバ市所在。

製品の98%をスウェーデン、フランス、英国、日本などへ輸出しており、英国向け（ロ

ーラ・アシュレイ、NEXT、ハビタット）が最大の販売先で、イケア社とも設立当時から取引有り。ローラ・アシュレイ社向け（高級家具）とイケア社向け（低価格家具）が30%ずつを占める。イケア向けのベッドは、月間4,000台を製造。

日本には、2000年から樺のベッド、たんすを出している。ミニマムロットは月に1コンテナで、1~2機種で受けており、テーブルだと400台分に相当する。木材は100%リトアニア産で、木材使用量は1,200m³/月。松の家具は価格がどんどん下がっているのので、将来的には樺の家具に100%シフトする予定。接着剤、塗料はスウェーデン、ドイツから輸入。設備投資は、年間利益の4分の3を充てており、今後CNCをもう1台導入するほか、乾燥室を80m³×5室建設する予定。デザイン部門があり、自社開発の新しいコレクションもある。顧客デザインと自社デザインが、ほぼ半分ずつとなっている。ローラ・アシュレイ社とイケア社の場合は、先方がスケッチを持ってきて図面を作成、それをさらに先方が手直しするという流れをとっている。ISOなどは、現在は取得しておらず、2004年に取得する予定。しかし、内部のQCはかなり厳しく行っている。接着剤、塗料もかなり良いものを使用。現在は、設備がフル稼働状態のため、新規注文は受けていない。通常の納期は、サンプルまで2週間、コンテナ出荷まで3~6週間。同社は、リトアニアの家具企業の中で最も賃金が高い方で、ワーカーが月額1000~1200リタス、マネージャークラスが月額3000リタス。2交替制で、6:00~14:30、14:30~23:00のシフト。株式は、3人（社長その他の従業員）が大部分を保有。

Aukmerges Baldai社

（www.wood-me.com/list/）

1945年設立、92年に民営化、その後98年に路線変更し、それまでのロシア向けの大きな

机などの家具から、西欧向けのリビング用、
寝室用家具に製造をシフト。リトアニア産の
樺、かしなどの無垢材を使用したテーブル、
洋服ダンス、棚などを製造。従業員数280人
(うち180人が製造、他がサービス、運送に従
事) 売上高は350万ユーロ(2002年)、2003年は
400万ユーロを目指す。ウクメルゲ市に所在。

英国、スウェーデン、ドイツなどへ輸出。
うち80%をローラ・アシュレイ、マークス・
アンド・スペンサー社に出荷。日本とは、
2002年にたんす、コーヒーテーブルなどのサ
ンプルを送ったが、注文には至っていない。
50~60種類の製品を作る能力があり、ロー
ラ・アシュレイ、マークス・アンド・スペン
サー社向けにたんすを、いずれも600~700台
/月出荷。ミニマムロットは、5~6種類の
混ぜ合わせて1コンテナ分で、約15,000ユー
ロ。デザイナーはいるが、自社デザインのも
のは、50~60種類のうち10%以下にとどまる。
顧客が下図を送付してきて、同社がそれに従
って図面を作成、それに顧客が手直しを加え
るという流れが多い。この3年間で年間100
万リタスを投資しており、既にある220m³の
乾燥室に加えて、新たに150m³の乾燥室を建
設する予定。もう少し設備投資を行って、輸
出の拡大のほか、リトアニア市場の開拓も行
う予定。同社は製材所有しないため、板を購
入しており、そこから家具製造までを行って
いる。塗料、接着剤などは西欧から輸入。経
営が軌道に乗ったのは、きちんと品質の高い
ものを作ったこと、またそれに見合う働きを
していることによるとの認識。安い家具は作
らないという方針で、マンチェスター、ミラ
ノなどの展示会に年3回程度出展している。
日本のDIY展示会からも招待状が来ている。

ワーカーの賃金は月額1,000リタス、マネ
ージャークラスの賃金は月額1,700リタス。
2交替制で、6:00~14:30、14:30~23:00
の2シフト。株式は、社長とその息子が92%
を保有。

Akmena 社 (www.akmena.lt)

1962年に木製子供用おもちゃの製造企業と
して設立。93年の民営化後に子供用、台所用、
オフィス用の家具の製造を開始。従業員数は
450人、うち300人が工場で働いている。クラ
イペダ市近郊のクレティンガ市所在。製品の
90%を西欧へ輸出しており、最大の顧客はイ
ケア社で94年から取引がある(イケア社向け
は輸出の60%で、2日に1回コンテナ1本を
出している)。

木材使用量は1,200m³/月。2002~2003年に
投資を見込んでおり、オーストリア製の乾燥
室などを設置したほか、ラッカー部門を強化
する予定。現在は、樺の製品が100%である
が、オークや針葉樹の製品も製造できるよう
になった。樺は100%国産。おもちゃの工場
であったことから他社と比べて面積が小さい
点が問題であり、将来敷地面積を拡大する計
画もある。2002年の売上高は1,150万リタス
で、従業員数の割に小さいが、ワーカーの賃
金は月額800リタス、マネージャークラスの
賃金は1,400リタスと安く、クライペダ市内
の2分の1程度。売上高は、2002年に20%増
加しており、2003年は40%の増加を見込む。
価格面ではロシア、中国が競争相手で非常に
厳しいことから、塗装、機械化、面積拡大な
どの投資を実施している。製品は、リトアニア
基準のほか、イケア社の基準を満たしており、
2003年ISO14000も取得する予定。燃料
材は全て端材を利用しており、端材が余った
場合には近隣の住民に販売している。イケア
社のほかには、イギリス、スペイン、ドイツ
などに出しているが、いずれも小口の顧客。
米国向けにも台所用テーブルを半年でコンテ
ナ6本出した。イケア社向けの子供用家具は
無塗装で出しており、もともと1,000~2,000
セット/月であったものが、現在は2万セッ
ト/月まで拡大しており、需要はどんどん拡
大している。主な競争相手は中国。2年前に
日本企業から子供用家具の見積もりが来たこ

とがあったが、注文には至らなかった。現在でも作ろうと思えば様々な家具を製造できるが、場所が非常に狭いのがネック。今後はもう少し複雑な家具も製造してみたいと思っている。ミニマムロットは100個。大株主はSBAグループの持株会社で、同社はグループ5社の中で最も規模が小さい。同グループは、リトアニア家具市場の4割を製造しており、Klaipedos baldai社（各種合板家具）、Silutes baldai（台所用家具）の2社が大きい。グループへの注文はKlaipedos baldi prekyba（SBA Baldai）社に一本化しており、同社へ接触があった場合にも、Klaipedos baldi prekyba社に注文を回している。分散注文しなくて良いことから、イケア社もこの方式を好んでいる。勤務体制は3交替制で、6：00～14：00、14：30～23：30、週末の3シフト。工場の従業員は2日働いて、2日休む体制になっており、注文が非常に大きい場合に備えて夜の人員を一応確保している。

Megrane (www.megrane.lt)

バルト三国で最大手の窓・ドアの製造企業で、従業員数714人。ヴィルニウス市所在。

PVC、アルミ及び木製の窓およびドアを製造しており、7つの子会社を持ち、設計から金属・木材加工、製造、備付まですべて自社で一貫して行っている。内部に遮熱・遮音のためのアルゴンガスを封入した二重ガラス構造の窓が看板商品で、同社のガラス加工機は欧州に3台しかないものの一つ。製品は、ドイツ、北欧、アイルランドなどへ輸出しており、さらなる輸出市場の開拓に努めている。材料の木材は、ロシア材をラトビアで加工した集成材やスカンジナビア材を使用。

(5) 木材加工産業関連の団体および木材加工関連研究機関

リトアニア木材製品協会（LIETUVOS MEDIENA、Association of the Lithuanian

Producers of Wood Production）

・ <http://mano.delfi.lt/lm/>

・ l.m@tdd.lt

リトアニア木材製品協会は93年5月にリトアニアの木材製品製造業者と木材製品輸出入業者（いずれも加工業者を含む、以下同じ）による任意団体として設立され、当時は協会員がリトアニア産業省管轄下の公的な組織の委託を受ける形で協会を運営し、その任務の遂行を執り行なっていた。協会の主たる目的は、リトアニアの木材製品産業発展の促進である。

協会は様々な規模や様々な運営形態を持つ森林企業や森林産業関係組織によって構成されており、森林の所有者や木材製品の生産者および木材製品や森林素材を取り扱う輸出入業者も多く含まれている。

協会の活動は常設の事務局によって管理されており、国内外を問わず協会会員の代表が協会の活動自体への責任を負うという組織形態を採っている。協会の主たる活動内容としては、森林企業の商業活動遂行上、必要とされる木材製品産業に関する情報を収集し、それらを国内森林企業に提供することである。また、リトアニア木材製品の生産および貿易における法律関連事務の処理や国際標準に則り、木材製品産業における専門家による補助も行っている。リトアニア木材製品産業を取りまく様々な情報を可能な限り収集するため、また、リトアニアの森林関連の専門家により多くが様々な研修を経て海外での国際貿易舞台で活躍するために、他国の同様組織および機関とリトアニア木材製品協会との提携、会員同士の交流を大いに促進している。

リトアニア木材製品協会は欧州木材産業連盟（C.E.I BOIS）に加盟しており、公的な組織としてリトアニア木材製品産業を牽引する位置を占めている

リトアニア木材製品協会代表 - ヴィクトラス・マヤウスカス

President of association-Viktoras Majauskas.

リトアニア木材加工業者組合 DSG

・ www.woodworkbiz.com

・ dsg@takas.lt

98年に、集成材（構造材、床材、壁材、天井材、木製窓・ドア）の生産に携わる中小企業の連合体として発足した。リトアニア、ラトビア、ベラルーシ、ロシア、ウクライナの集成材メーカー40社が加盟。主な活動としては会員企業へのクライアントの紹介および新技術の導入、会員企業が行う集成材関連のプロジェクトへの金銭的サポートなどあげられる。現在、対日輸出促進プログラムを実施しており、2001年秋以降ジェットロ輸入住宅部材センター（東京）にも出展。一部会員企業は、日本向けに集成材の本格的輸出を開始している。

代表 Vladislovas Masoitis

小規模家具製造業者組合 D.A.R. BALDAI

・ Dreve@one.lt Kelba@one.lt

7社の小規模な家具製造企業の組合で、会員企業が協力して洗面所用家具、台所用家具、ベッドなど各種家具を製造。日本市場への輸出を希望。ヴィルニウス市所在。

コンタクト先 Andrius Kelbauskas

小規模家具製造業者代理店 TECO

・ Tel.+370 61 203543 Fax.+370 34 961059

小規模家具製造業者の代理店として、インドアおよびアウトドアの各種家具の販売活動を行う。顧客の要望に応じて、いかなる種類・デザインの木製家具の製造も引き受ける。リトアニアに委託生産を行い逆輸入を行う海外企業を探している。ヨナーバ市所在。

コンタクト先 Paulius Astromskis.

4．木材加工産業の今後の見通し

リトアニアの代表的な木材加工業者および

同団体に対し、次のとおり質問を行い回答を得た。

質問事項：

- 1．過去10年間の木材加工産業の動向をどう評価するか？
- 2．木材加工産業の今後の見通し、製造シフト転換について
- 3．日本市場と対日貿易

アソシエーション Lietuvos Mediena

事務局長 Dr. Imantas Lazdinis氏

- 1．リトアニアの木材加工業は、産業全体の中でも重要な位置を占めており、特に家具製造産業の発展は将来の木材加工産業にとって重要な意味を持つだろう。
- 2．2002年の木材および木材加工品の輸出額21億9,650万リタスのうち、37.7%を家具が占めた。このことは、リトアニアの木材加工産業が世界的なマーケットでの競争力をつけているといえるだろう。
- 3．現在もリトアニア製家具は日本に輸出されているが、他国製品と比較して少量にとどまっている。将来的に対日輸出量は拡大する希望がある。

Universalus Medezio Produktai社

代表 Vygantas・Dabuzinskas氏

- 1．満足している。対象となるマーケットの主力が東側から西側に転換したことにより、品質、製造能力、柔軟性といった問題が解決を見た。こういった問題を解決できなかった企業は倒産したが、この試練を潜り抜けることのできた企業は、将来的にも成長していくと思われる。
- 2．この先の10年については肯定的に捉えている。もしリトアニアが西欧並みの生活水準に達するならば、木材加工産業は現在のデンマーク・スウェーデンのようになるだろう。しかし、問題はロシアまたは中国から

安い木材が流れ込むことだ。そうなれば競争はかなり困難なものとなるだろう。しかし、10年間はまた「黄金時代」が続くだろう。

3. 大規模で豊かな市場であると認識している。しかし、その市場に食い込むためには日本にパートナーをもつことが必須であると捉えている。

Vilniaus baldų kombinatas社
社長 Viktoras Majauskas氏

1. リトアニアの家具、建具製造企業は約350社あるが、そのうち協会に入っているのは86社程度。特に無垢材家具を製造している企業は、協会に入っていないところが多い。台所用家具であればVoke-III社、Silutes Baldai社が、椅子はVenta社が強い。

リトアニアでこれだけ家具企業が発展したのは、ソ連時代に家具製造を分担していたことが大きい（ソ連時代には2年先までの受注を保証されていた）。ヴィルニウス、カウナス、クライペダが3大製造拠点で、その他ウクメルゲなど小さなものがいくつかあった。1975年以降に大きな設備投資を行っており、ソ連邦崩壊時にはいつでも西欧へ家具を輸出できる状況にあった。イケア社はここに目をつけてリトアニアへ製造下請を発注してきたもので、現在リトアニアで製造された家具の60%は同社向けに出荷されている。同社は、常時、製造量を増やすよう求めてきている。同社の下請という意味での最大の競争相手は、ポーランド企業。ドイツ、スウェーデン企業の傘下に入ったポーランド企業は手ごわい。

2. 現在商品の販売に特に困っていることはないが、同社への依存度（90%）が高すぎることから、今後5社ほど取引先を増やし分散していきたい。ロシア市場へは既に輸

出を開始したが、米国市場へも輸出したい。もう少し機械化を進めれば、中国にも十分対抗可能と思う。EUへの加盟は、市場がEU全体に拡大することから、リトアニア企業にメリットがあると思う。ドイツやスウェーデンの企業も同じことを行っているが、内容がそれ程集中的ではないにもかかわらず給与水準はリトアニアの5～10倍であり、リトアニアは競争力がある。ただ、頭脳労働者の流出は心配。ロシアは、消費地としては魅力がある。

3. これまで50カ国以上を訪問したが、日本市場は他のどの国とも異なる魅力がある。ジェトロの2002年度EJSPに参加して、日本人のメンタリティなどについて知識を深めたことは非常に良い経験であった。日本市場へは、多少時間がかかっても是非進出したい。

リトアニア木材加工業者組合 DSG
副会長 T. Žilinskas氏

1. この10年間の間一貫して利益をあげ続けた。様々な技術革新や、製品の増加、品質の向上が見られた。そういった点において、非常に満足できる10年間であった。
2. EUの中におけるリトアニア木材加工業については、肯定的に捉えている。市場は拡大し、また技術革新の可能性も現在より拡大するため、リトアニア製木材加工製品の品質の向上にも大幅に貢献すると思われる。
3. リトアニアにとって日本は、非常に興味深い重要な市場の一つで有り続けると認識している。しかし、そのためには日本市場の特殊性、かつこの市場において求められる製品について正しく知る事がますます重要となるだろう。

木材加工業主要企業一覧

企 業	URL	Mail	製 品	売上高 (100万 ユーロ)	総従業員数
1. Pajūrio mediena	N/A	pajurio@takas.lt	製材	29,2	504
2. Klaipėdos mediena	www.mediena.lt	info@mediena.lt	ベニヤ板、削片板(パーティクルボード)家具	28,5	1410
3. Vilniaus baldųk.	www.vbk.lt	baldai@vbk.lt	家具	23,5	863
4. Klaipėdos baldai	www.klaipedos-baldai.lt	info@kbaldai.lt	家具	21,8	627
5. Ochoco Lumber	www.ochoco.lt	gdolclt@ochoco.lt	製材	19,9	148
6. Klaipėdos kartonas	http://www1.omnitel.net/ kl-kartonas	kl_kartonas@klaipeda.omnitel.net	ペーパーボード(ボール紙)	19,2	411
7. Grigiškės	www.grigiskes.lt	info@grigiskes.lt	製紙、ファイバーボード	17,1	876
8. Šilutės baldai	www.silutesbaldai.lt	sil_baldai@klaipeda.omnitel.net	家具	16,7	883
9. Dominga Hardwood	www.domingahardwood.lt	arturas@domingahardwood.lt	家具材 床材	15,4	112
10. Dominga mill	www.domingamill.lt	zilvinas@domingahardwood.lt	製材	14,8	265
11. Venta	www.venta.lt	info@venta.lt	家具	12,9	848
12. Kauno baldai	www.kaunobaldai.lt	info@kaunobaldai.lt	家具	10,6	560
13. Girių bizonas	N/A	bizonas@mari.omnitel.net	削片板(パーティクルボード)	10,6	246
14. Narbutas ir Ko	www.narbutas.com/	info@narbutas-ir-ko.lt	家具	10,2	276
15. Lietuvos tara	www.ltara.lt	komercija@ltara.lt	梱包材、その他木製品	9,6	354
16. Stora Enso Packaging	www.storaenso.com	Tel. +370 7 310 690	ペーパーボード(ボール紙)	9,0	60
17. Freda	N/A	freda@bbg.lt	家具	8,3	356
18. Grafobal	N/A	N/A	梱包材	7,8	126
19. Kappa Packaging	www.kappa-baltic.com	Vilnius@kappapackaging.com	梱包材	5,8	85
20. Karigė	N/A	karige@kaunas.omnitel.net	家具	5,7	368
21. Naujieji Verkiai		naujiejiverkiai@post.omnitel.net	製紙	5,4	234
22. Dalios baldai			家具	5,4	162
23. Baldai Jums	www.tiltas.lt/baldaijums	baldaijums@tiltas.lt	家具	5,2	303
24. Dailinta	www.dailinta.lt	dailinta@is.lt	ソリッドウッドパネル	4,9	120
25. Sakuona	N/A	sakuona@klaipeda.aiva.lt	合板家具部品	4,8	359
26. Juodeliai	www.juodeliai.lt	juodeliai@juodeliai.lt	ユーロパレット	4,7	320
27. USG	www.usg.lt	usg@is.lt	家具材 床材	4,5	116
28. Jūrės medis	www.juresmedis.lt	jures.medis@mari.omnitel.net	構造材	4,5	130
29. Vokė -III	www.voke3.com	vp@voke3.com	家具	3,6	173
30. UMP	N/A	ump@post.omnitel.net	家具部品	3,5	109